

JOMの最後の朝が終わって泣いて、電車に乗って  
地元の駅に着いて、また泣いていました。「行って良かった」との  
嬉し泣きも勿論ですが、一週間共に過ごした仲間達との  
別れが物凄く寂しくて、その涙だったんだと思います。  
田崎先生も自負するメンバー人選、確かに、先生の  
この力は凄いと感服を覚えずを得ませんでした。

初日に清里に着いた日は、また皆、現実世界で使っ  
た何層もの皮で身を覆っていた様な気がします。その  
皮は、日を重ねる毎に消えてゆくのが分かりました。  
皆素直に剥がれていきました。それで、皮の一番奥の、  
一番硬くて一番光ってる種の様なものに私達はなって、  
その状態で互いに触れ合っ知り合っ、その状態で  
学び、音楽を作りました。だから、私達が最後に辿り  
着いたのが、あのファイナルコンサートでの皆の素晴らしい演奏と、泣き顔。  
私達種同士植物の原理は知りませんが、ヒコヒコカの皆の種からは  
綺麗な芽が出る事でしょう。Joy of Musicで磨かれた  
種を美しい花へ咲かせる為に、私達はJOMで学んだ事を  
忘れないと信じます。

先生も、受講生の皆も、聴講生も、JOMに所属した人達皆、大好きです。

毎日が「田崎マジック」。その魔法が、今居る現実世界でも  
解かれない様に、その魔法を糧にして花を咲かせる為に  
精一杯やって、心の底から叫ぶ様になった言葉...

ありがとうございました。

